

番号	質問	回答
1	濃厚接触者への介護業務は発生するのか	基本は残メンバーで可能な身体援助量に調整することを原則として、チーム派遣ではそれを支えるべく、介護補助、生活援助をベースにチーム編成を組むつもりです。応援業務そのものの内容が見えていない段階のため、まずはイメージできる業務でのスモールスタートとしたい趣旨であり、アセスメントの状態が見えていない段階での直接介護は難しいのではと考えています。
2	看護師の応援は想定されているのか	看護師を含めた応援メニューを、現時点で付け加える予定はありません。（先述したスモールスタートとしたい趣旨であり、看護師の方がチーム派遣に加わっていただくこと自体は安心感が増し大歓迎です。）
3	特定施設以外の応援は対応してくれるのか	スキーム立ち上げの現段階では想定しておりません。（申し訳ございません。）
4	応援期間と復帰できる期間(PDR検査後も含めて)はどれぐらいの期間を想定しているのか	介護補助、生活援助をベースにチーム編成を組む予定で濃厚接触を伴わない前提です。PCR検査キットを事前に購入予定であり、応援終了後に陰性判定が出れば（結果は翌日判明予定）、原則はその翌日から出社可能と判断しております。
5	合意書を提出した法人のみが対象となるのか	ネットワーク構築してから落ち着いた段階ではその運用で想定しています。しかし、構築当初は本スキームの案内も行き届いていない状況もあると考えており、事がおこった場合に未合意の法人に対してもお声がけしていく予定です。
6	遠方に応援に行き宿泊が伴う際、宿泊が可能な人の確保はできるのか(いざ発生した時に機能するのか)	ネットワーク合意の各社はもちろん、ツクイグループおよび登録派遣社員も含め広くお声がけさせていただきます。もちろん必要人数に届かないケースは十分に想定しております。
7	応援に行くメンバーの資格要件はあるのか 生活相談員なども応援に行く場合があるのか	今回リーダー業務を担うツクイスタッフ社が感染症対策の知識をもってチームを率いる運営といたしますので、応援メンバーに関しては、生活相談員等もケースとしてあります。（資格要件は持たず広くメンバーを募りたいと思います。）
8	濃厚接触者に対しても介護するというスキームでなければいけないのではないのか	現時点で濃厚接触者に対する直接介護を想定していないのは、応援業務そのものの内容が見えていない段階のため、まずはイメージできる業務でのスモールスタートとしたい趣旨です。アセスメントの状態が見えていない段階での直接介護は難しいのではと考えています。
9	応援に入る時間帯は日勤のみか。夜勤に入ることは想定されているか。	原則は介護補助、生活援助をベースにチーム編成を組むつもりなので夜勤業務は予定しておりません。（チーム業務の内容が見えていない段階のため、まずはイメージできる業務でのスモールスタートとしたい趣旨です。）
10	自治体の同様の取り組みとバッティングした場合はどうしたら良いか	個社でのご判断になると思っております。なお、団体、自治体いずれのネットワークに加盟された場合でも、出勤はその時の可否の判断と想定しております。
11	事前に職員が研修動画を見て勉強してから、ツクイの指示に従って現場に入るのか	その通りです。チーム派遣合流前に感染症に関する基本的な知識のおさらいとして20分ほどの研修動画を用意しております。
12	発生した時に誰が行くのかの名簿を作ったらか	窓口を回報していただいた後に、各法人にコールバックのうえ、比較的小規模な法人様に対してはバイネームでのご準備をお願いする予定で、比較的大規模な法人様については、個別にヒアリングをさせていただく予定です。
13	一つの法人から複数名応援に出る可能性はあるのか	法人単位での出勤要員数は特に決めておりません。
14	看護師でも応援は可能か	もちろん可能です。（看護師の方がチーム派遣に加わっていただくこと自体は安心感が増し大歓迎です。）
15	応援の際は一週間連動などもあるのか	緊急時に応援業務とはいえ、労基法等の順法運営を心掛ける予定ですので、原則ございません。
16	研修はビデオ研修以外に年間スケジュールや顔を合わせての研修などはあるのか	窓口登録いただいた方をつうじて、ご連絡先を頂戴した方に対して、出勤前に観ていただく動画、あるいは現在厚労省が老健事業で作成している、感染症マニュアルや研修メニューをオンラインでご提供することを検討しております。
17	応援は宿泊することを前提に想定するのか	宿泊有無はその時々で異なる想定です。また、宿泊有の場合はホテル等への宿泊となる予定です。
18	宿泊の際のホテル予約は個別ですか	ホテルの手配はチーム運営の一環で行いますが、宿泊の条件でどうしても譲れない事項がある場合等は立替による運営もその場で検討いたします。
19	この事業の財源がなくなった場合はその時点で終了するのか	本スキームの運営費用の多くは、協力金とかかり増し費用となりますが、前者は被応援法人が負担する、後者は行政に申請する前提とすれば、毎月の経常経費は介保協の事業費で賄えるものと考えています。
20	事前の研修は感染症対策の動画以外でどういったものがあるのか	現在想定しているものは、出勤前に観ていただく動画、あるいは現在厚労省が老健事業で作成している、感染症マニュアルや研修メニューをオンラインでご提供することを検討しております。
21	手当の金額は夜間業務が発生しない前提の金額なのか	先述のとおり、介護補助、生活援助をベースにチームを編成するつもりなので夜勤業務は予定しておりません。応援業務そのものの内容が見えていない段階のため、まずはイメージできる業務でのスモールスタートとしたい趣旨です。
22	PCR検査を受けた後の休み期間の休業補償について	先述のとおり、介護補助、生活援助をベースにチームを編成するつもりであり感染防護員も準備予定であり、濃厚接触を伴わない予定です。またPCR検査キットを事前に購入予定であり、応援終了後に陰性判定が出れば（結果は翌日判明予定）、原則はその翌日から出社可能と判断しております。ただし、個社の新型コロナウイルス対策の運営上、応援終了後にも例えば2週間の休業補償等が必要になる場合には、介保協での個別負担の可否を都度検討させていただきます。